# 聞紙面に掲載された 特集記事を紹介し いた しま

## 成28年12月 20

内閣制度が創設された翌年の 1886年5月、宮内省内の警察署として発 足。奈良時代に天皇を警護していた「内舎人」 や平安時代に宮中を警備した「滝口の武士」 がルーツ。警察庁の付属機関で、人員は皇宮 護衛官や事務官ら計903人(12月14日現在)。 皇宮護衛官は特別司法警察職員で、天皇や皇 族の「生命、身体、財産に対する罪」などの 捜査権限を持ち、拳銃も携行する。

バイクで割り込み、何とか さに両陛下のお車との間に 門前光明さん(47)は、とっ 4日、北海道富良野市の国 ってきた。2003年7月 線を逆走する軽自動車が迫 と向かわれる天皇、皇后両 軽自動車を止めた。乗って 道。白バイ担当の護衛官、 陛下のお車の背後に対向車

受け取った。

門前さんは、雨の日も風

というねぎらいのお言葉を よりでした。ありがとう」

したことになる。

陛下から「けががなくて何

そのまま進められた。宿舎

投げられた事件だった。と

史」によると、昭和天皇は難 の大事件だった。「皇宮警察

両陛下に向かって発炎筒が

両陛下は無事で、予定は

に戻ると、上司を通じ、両

視察先のラベンダー畑へ

皇宮護衛官たちの思いを紹 がら、皇室の守りにかける ートした歩みを振り返りな 主殿寮皇宮警察署からスタ 130年を迎えた。188 皇宮警察回が今年で創設 (明治19年)に宮内省

# で触れ合い

うとしたとみられた。 えるため、両陛下に近づこ いた男は、自身の不満を訴



熊本地震の被災地をお見舞いされた両陛下。背後に は岩井田さん(皇后さまの左後ろ)ら皇宮護衛官が 目を光らせている(5月19日、熊本県南阿蘇村で)

にして得た経験を受け継

皇室の方々と行動をとも

の距離だった」という。

人が入って来られない絶妙

道に支える市井の人々のあ 域を愛し、その共同体を地 のどこにおいても、その地

ることを私に認識させ〉

陛下が今年8月に発表さ

は欠かせない要素となって うに配慮した「ソフト警備 との触れ合いを妨げないよ

ことを知っている彼らは、

り、子どものころから私の 当をしていた側衛も数名お る。「十年以上わが家の担 著書のなかでつづられてい 女、三笠宮家の彬子さまは、 る皇宮警察。寛仁さまの長 ぎ、平成の皇室を守ってい

いわば家族のようなもの

が果たされるうえで、人々 れたお言葉。「象徴の務め」

守る任務が果たせて良かっ 振られる両陛下の姿に接し てもらい、窓を開けて手を ると、お車の速度を落とし の日も、沿道で人を見かけ に加わった契機は、199 た」と振り返る。 てきた。「大切なご活動を 皇宮警察の白バイが車列 いう過去がある。 道には数
がごと
に制服の
警 者に銃撃された「虎ノ門事 和天皇)の車が無政府主義 室がテロの対象になったと 厳重な警備の背景には、皇 察官が立ち、車列を守った。 止め、交差点を遮断し、沿 23年12月、摂政宮(後の昭

ない警備を望まれたと関係

う」と荷物を持ってくれた

おかないと守れないだろ 衛もいる。「両手を空けて な基本を教え込まれた元側

宮家の寛仁さまから、そん

4年前に逝去された三笠

道に私服の警官を配置し 線を一部では規制せず、沿 のお車の移動では、対向車 徳島県を訪問された両陛下 即位4か月の8年5月、 へ全国に<br />
及ぶ旅は、<br />
国内

年後、北海道で威力を発揮 め、導入された白バイが10 っさの対応を強化するた 昭和時代は、対向車線を 沖縄県糸満市の「ひめゆり 入江為守・東宮侍従長が負 通して天井に突き刺さり、 を逃れたが、銃弾は窓を貫 件が発覚。翌年7月には、 爆弾をしかけた爆破未遂事 和天皇の特別列車を狙って 炎瓶を投げつける事件が発 だった両陛下に過激派が火 の塔」で、当時皇太子夫妻 る活動家が、74年8月に昭 監らが懲戒免職となった。 傷。内閣は総辞職、警視総 それでも陛下は壁を設け 戦後も、反天皇制を訴え ず死角なく見渡すために

は、斜め後ろを歩く方がい

「国民からの視線を遮ら

日本職業スキー教師協会総 つからず、かといって間に せよと。急に止まってもぶ た。「常に4
が後ろを滑走 衛にも高い技能を求められ 裁を務めた寛仁さまは、 こともあった。 学習院大スキー部主将、

護衛官(側衛)」の一人だ。 付き従って護衛する「側近 表現する。プライベートも 守る役目の岩井田徳雄さん 含め、常に陛下や皇族方に (4)は、自身の役目をそう の影になり、いざという時 には壁になる」。両陛下を 「平時は目立たず両陛下

いる。

# 平成28年12月21日付 読売新聞朝刊

天皇の崩御や太皇太后、皇太后、 皇后の逝去に伴い、 1年間続く皇室の儀 昭和天皇の大喪儀では、憲法の政教分離 原則により、天皇に限って行われる国の儀式 「大喪の礼」と、葬場殿の儀は区別された。 葱華輦は古くから京都市左京区の「八瀬童子」 と呼ばれる集落の人々が担いできたが、人手 不足になったため、昭和天皇の大喪儀では、 皇宮護衛官が受け継ぐことになった。

・5小のみこし「葱華輦」 焼で、柩。を収めた重さ約1 殿の儀」が営まれた新宿御 を担いだのは、 月24日。皇室の行事「葬場 間に数小の砂袋を積んだみ を中心に編成された。崩御 から約1か月間、勤務の合 護衛官だった。 本葬を迎えた1989年2 こしを担ぎ、ひたすら歩き 担ぎ手は、若手の護衛官 宮内庁幹部を前にしたリ 51人の皇宮

皇宮警察30年

昭和天皇の大喪儀包で、

靖士さん(49)は、肩の擦り ぎ手の一人、護衛官の平島 うように特訓を続けた。担 態を演じた。不安を振り払 そろわず、葱華輦が傾く失 だに覚えている。 傷や腫れによる痛みをいま

が約250以の参道をゆっ 雨だった。黒装束姿の5人 当日はみぞれ交じりの小

とができた」と安堵した。 柩を下ろした時、「なんとか るようだった」と平畠さん。 響き渡った。「何かに引かれ 調べと玉砂利を踏む足音が 皇室の伝統の一 寂に包まれた葬場に雅楽の 端を担う

日本の伝統や文化の中心

必須科目だ。 きで花を生ける光景が見ら れる。詩吟や茶道、和歌も 生の指導を受けながら、新 統を伸ばせ」とうたってい 道の授業もあり、華道の先 人たちがおぼつかない手つ 皇宮警察の精神」は 1947年に定められた 皇宮警察学校では、

けられるほど心が動かさ 昭和天皇の歌に胸が締め付 るまで、和歌とは縁がなか さん(47)は、皇宮警察に入 ともある護衛官の上江洲聡警察学校で教壇に立つこ った。だが、ふと目にした ようになったという。 れ、和歌の勉強に没頭する 八思はざる病となりぬ沖

や見るらむ〉 音きこゆなり心ゆるして月 な歌の一つだ。 うになった。明治天皇の皇 重みと誇りを一層感じるよ 下の思いを知り、上江洲さ 后・昭憲皇太后の歌もそん んは、護衛官という任務の 歌を通じ、昭和天皇や陛 へみかきもる人のくつの

# ハーサルでは、51人の足が 察の儀仗隊が固めた。静くりと進み、両側を皇宮警 教養も求められる。 る皇宮護衛官には、 に位置する皇室を守ってい

、豊かな

幸と伝統

葬場殿に向かう昭和天皇の柩を収めた葱華 古装束に身を包んだ皇宮護衛官51人が担 (1989年2月24日、新宿区の新宿御苑で)

縄をたづねて果さむつとめ

ありしを〉

切望してきた沖縄訪問を

安心して月を見ましょう

-。皇室の方々が寄せて

音が聞こえるから、今夜も

巡回している護衛官の靴

皇が故郷に寄せた思い 1か月後に控えた198

深さをこの歌で初めて感

り行けば彼方恩納岳さやに人万座毛に昔をしのび巡始で披露された。 詠まれた歌が、翌年の歌会 た。その時、陛下が沖縄で 皇后両陛下の護衛を務め 年、沖縄を訪問された天皇、 上江洲さんは2012

の短歌である琉歌も学ばれ に寄り添うため、沖縄独自 巻き込まれた沖縄の悲しみ れた。陛下は戦争の惨禍に から仰いだ時の思いを詠ま も登場する恩納岳を万座毛 立ちたり〉 18世紀の有名な琉歌

洲さんは沖縄出身。昭和天 念を詠んだ歌だった。上江 年9月、病に倒れた無

気持ちになるという。 は。読み返すたび、そんな くれる信頼に応えなくて

### 平成28年12月22日付 読売新聞朝刊 (都内版)

「動()

千代田区の約115万平方なの敷地 に天皇、皇后両陛下のお住まいの御所や 祭祀を行う宮中三殿、宮殿、宮内庁庁舎など がある。門は九つあり、二重橋を近くにのぞ む正門、宮内庁庁舎に近い坂下門、 される東御苑の入り口の大手門、天皇ご-が使われる半蔵門などが代表的。「明治宮殿」 が焼失した1945年5月の空襲では、消火にあ たった皇宮護衛官ら33人が殉職した。

だが、不審者の侵入を許し 皇宮護衛官の松田登さん グループだった。 の沖縄訪問に反対する学牛 皇太子夫妻(いまの両陛下) 飛び出した4人の男女は、 追突して停車した。車から 突破し、前方のタクシーに が、皇居・坂下門前の柵を た苦い過去もある。 皇室施設や財産を守るの 坂下門で警戒していた元 皇居回や京都御所などの 1975年7月、乗用車 皇宮警察の重要な務め

(65)は、男1人を取り押さ

皇居の警備を強行

皇宮警察130年

えた。 だが、「絶対守るべき場所 けた同僚が取り押さえた。 震えた」と松田さんは振り 内庁庁舎の目の前で駆け付 振り回しながら門の中へ消 に侵入された悔しさで身が 約200 が離れた宮

般参観の入場者に対し、

り、新たな対応が求められ 観光客も急増した。日本も 般公開が拡大され、外国人 テロの対象になる時代にな 皇居では今年6月から、

> る。目つきやそぶり、話 うしましたか」と声をかけ

双眼鏡を手に遠くから警戒

、近づいてくる人には「ど

かわる任務は、戦後、

てきた外国大使の接遇にか

明治以降、近衛兵が担っ

なった。ベテランと若手の

手荷物検査を求めるように

た山口賢宣さん(36)はそう 今年9月まで指導役を務め

説明する。

く神経を研ぎ澄ませる。

ている言語などにさりげな

った。日本に赴任した外国 護衛官が担当するようにな

入使が、<br />
元首からの<br />
書状を

り厳格にするため、人材育 成に力を入れる」という。 大切にしつつテロ対策をよ されてきた両陛下の思いを 警察の藤山雄治本部長は 習得も必要となった。皇宮 会も増え、護衛官は語学の 国民のために皇居を開放 外国人とやりとりする機

> する大使の前後を騎馬で固 皇居・宮殿まで馬車で移動 式もその一つ。丸の内から 大皇陛下に渡す信任状奉呈

金 都心の喧騒のなかで、 の歓迎行事では、 ため、「視線は一点先」を 微動だにしない姿勢を保つ することはほとんどない。 て国王夫妻を迎えた。 の特別儀仗隊35人が整列し かに保たれてきた皇室の品 都心の喧騒のなかで、静

行われたベルギー国王夫妻 めているのは、皇宮護衛官 皇居の宮殿で10月11日に

儀仗隊が賓客の姿を目撃

皇居・正門の警備を交代する「儀仗」の皇宮護 千代田区で)

包んだ「儀仗」と呼ばれあしらわれた儀礼服に身を 色やワインレッドの装飾が 365日、同じ姿勢を保ち、 る護衛官が2人1組で守っ 交代時はペアと寸分たがわ ている。真冬でも真夏でも ちょっとでも気がゆるむ

> 要な任務といえる。 位を守るのも、護衛官の

(この連載は小野沢記秀が

担当しました)

鑑さを映す鏡でもある。 警生じる。「儀仗は皇居の静 化も守っているという誇り 備に加え、皇室の精神や文 が忍耐強さを支えている」。

えたが、3人は鉄パイプを 突破されるような事件はな いが、近年、皇室施設の

トになっている正門は、 観光客の人気撮影スポッ